

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年												2023年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日
カンピロバクター	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	11	15	14	7	14 (2)	6
病原性大腸菌	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	10	17	19	29	24 (4)	6
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0	3	3	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2	0	8	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2	3	5	2 (1)	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
ノロウイルス	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第18週(5月1日~5月7日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					3		
三類	0	発生なし	0							
四類	3	日本紅斑熱	3			1				2
		レジオネラ症	3					2		1
五類	3	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1					1		
		梅毒	2					1		1
新型インフルエンザ 等感染症	2,091	新型コロナウイルス感染症	2,091	338	177	216	55	935	119	251

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hodc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

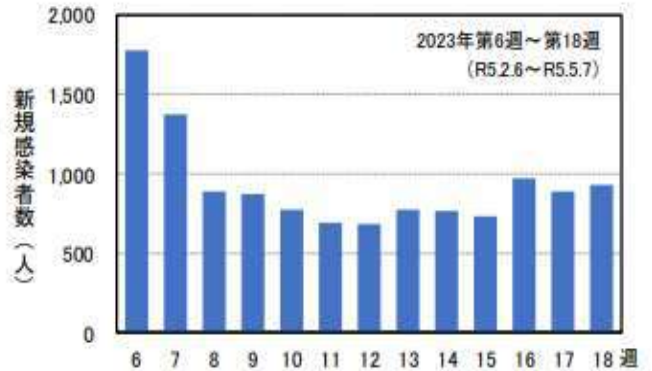
第18週に935件の報告があり、ほぼ横ばいで推移しています。5月8日から5類感染症に移行し、感染対策は個人や事業者の自主的な判断に委ねられました。感染症法上の位置付けが変わっても、手洗い、換気、状況に応じたマスクの着用などの対策が有効であることに変わりはありません。引き続き、一人一人が対策に取り組むことが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり3.14人の報告がありました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
 第18週 A型:69人、B型:0人

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



3 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は2件になりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	110	3.14	0.27		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.10	
	咽頭結膜熱	13	0.54	0.22			RSウイルス感染症	21	0.88	0.26	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.17	0.64		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	81	3.38	3.28			流行性角結膜炎	8	1.00	0.70	
	水痘	2	0.08	0.15		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.29			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.08			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.21	0.25			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.83		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第17週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	41	30歳代、70歳代、80歳代
4	レジオネラ症	2	9	70歳代、90歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	2	50歳代・エイズ
5	梅毒	1	86	60歳代